



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月5日

上場会社名 株式会社ヨロズ 上場取引所 東  
 コード番号 7294 URL <http://www.yorozu-corp.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)佐藤 和己  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役常務執行役員 財務部長 (氏名)佐草 彰 TEL 045(543)6802  
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	83,732	10.7	4,886	25.5	5,138	22.1	3,041	19.7
24年3月期第3四半期	75,631	2.7	6,562	11.6	6,598	8.4	3,785	2.7

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期3,664百万円(134.1%) 24年3月期第3四半期1,565百万円(50.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	151 05	150 31
24年3月期第3四半期	200 46	187 30

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	89,509	54,260	50.8
24年3月期	83,850	51,235	51.2

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 45,515百万円 24年3月期 42,895百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期		9 00		10 00	19 00
25年3月期		10 00			
25年3月期(予想)				10 00	20 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,900	9.2	6,100	25.1	6,400	26.7	3,700	31.7	183 74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 2 社 (社名) ヨロズオートモーティブグアナファトデメヒコ社  
(社名) ワイ・オグラオートモーティブタイランド社  
除外 社 (社名) -
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 有  
修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年3月期3Q	21,455,636株	24年3月期	21,455,636株
期末自己株式数	25年3月期3Q	1,318,399株	24年3月期	1,328,085株
期中平均株式数 (四半期累計)	25年3月期3Q	20,134,451株	24年3月期3Q	18,883,633株

### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- 当社では、個人投資家の皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しています。開催予定等については、当社ホームページをご確認ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) 重要な後発事象	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、欧州債務問題に伴う財政及び金融不安の影響が長期化する懸念もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

こうした中、日本におきましては、震災からの復興需要等を背景に緩やかな回復がみられましたが、円高の進行や電力の安定供給への懸念などにより、本格的な回復の妨げになっております。

当社グループが関連する自動車業界におきましては、国内市場では、震災からの復興需要やエコカー補助金等の政策効果による下支えがありました。海外市場では、日中関係の悪化による中国での販売台数の減少や欧州の景気後退の影響によるインドでの輸出台数の減少など、厳しい状況で推移しているものの、米国・メキシコやタイ等のアセアン地域では回復基調が強まっております。

このような状況におきまして、当社グループの売上高は、前年同期比10.7%増の83,732百万円となりました。

利益面では、「最大の効率と徹底したミニマムコスト」をポリシーとし、全社を挙げて原価低減活動を継続しておりますが、新拠点の操業開始コストや労務費の増加等の利益圧迫要因等があり、営業利益は前年同期比25.5%減の4,886百万円、経常利益は前年同期比22.1%減の5,138百万円、四半期純利益は前年同期比19.7%減の3,041百万円となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりであります。

#### ①日本

主要得意先であります日産自動車をはじめ各カーメーカーの増産の影響や金型・設備売上が増加したことなどにより、売上高は前年同期比2.4%増の37,921百万円となりましたが、海外展開に伴う人材の強化に係る労務費の増加や海外新拠点増強費用の増大などにより、セグメント利益は前年同期比26.1%減の2,752百万円となりました。

#### ②米州

得意先の生産拡大により、売上高は前年同期比17.9%増の27,742百万円となりました。

一方、利益面では、売上高増による利益の増加に加え、継続して取り組んでいる原価低減活動の効果などによりセグメント利益は前年同期比25.2%増の879百万円となりました。

#### ③アジア

得意先の生産拡大により、売上高は前年同期比18.2%増の26,969百万円となりました。

一方、利益面では、新拠点の操業開始コストや労務費の増加等の利益圧迫要因があり、セグメント利益は前年同期比25.4%減の1,914百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ571百万円減少の45,169百万円となりました。これは、「受取手形及び売掛金」が3,387百万円増加したものの、「現金及び預金」が3,199百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ6,231百万円増加の44,340百万円となりました。これは、「有形固定資産」の「機械装置及び運搬具」が4,266百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は前連結会計年度末と比べ5,659百万円増加の89,509百万円となりました。

#### (負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末と比べて782百万円減少の24,201百万円となりました。これは、「1年内返済予定の長期借入金」が615百万円増加したこと、及び「その他」に含まれるリース債務が700百万円増加したものの、「支払手形及び買掛金」が2,033百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ3,417百万円増加の11,047百万円となりました。これは、「その他」に含まれるリース債務が791百万円減少したものの「長期借入金」が4,417百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末と比べ2,634百万円増加の35,249百万円となりました。

#### (純資産の部)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ3,025百万円増加の54,260百万円となりました。これは、「利益剰余金」が2,638百万円増加したこと、及び「少数株主持分」が354百万円増加したことなどによるものです。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績の動向等を踏まえ、平成24年11月6日に公表いたしました平成25年3月期（平成24年4月1日～平成25年3月31日）の通期業績予想を下表の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

## 1. 平成25年3月期 連結業績予想数値の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成24年11月6日発表)	百万円 109,000	百万円 6,200	百万円 5,600	百万円 2,900	円銭 144.01
今回修正予想(B)	110,900	6,100	6,400	3,700	183.74
増減額(B-A)	1,900	△100	800	800	—
増減率(%)	1.7	△1.6	14.3	27.6	—
前期実績(平成24年3月期)	101,524	8,139	8,735	5,418	282.30

## 2. 修正の理由

当第3四半期末において、為替相場が想定レートより円安になったことにより為替差益（営業外収益）が生じたため、経常利益が前回発表予想に比べ増加する見込みです。

また、当期純利益については、経常利益の増加に加え、株式相場の好転に伴う保有有価証券評価の上昇により、前回発表予想に比べ大幅に増加する見込みです。

なお、当連結業績予想（海外子会社の損益計算書の円換算）は、以下の為替レートを前提としております。

1USドル=79.81円、1メキシコペソ=6.07円、1タイバーツ=2.57円、1中国元=12.67円、1インドルピー=1.50円、千インドネシアルピア=8.50円、1ブラジルリアル=43.00円

\* 上記の予想は、本資料の発表時における将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、新たに設立したヨロズオートモーティブグアナファトデメヒコ社、ワイ・オグラオートモーティブタイランド社を連結の範囲に含めております。

また、当第3四半期連結会計期間より、新たに設立したヨロズオートモーティブアドブラジル社を連結の範囲に含めております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### (税金費用の計算)

税金費用については、連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

### (4) 追加情報

#### (連結納税制度の適用)

第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,864	11,665
受取手形及び売掛金	14,338	17,725
製品	4,461	3,938
原材料及び貯蔵品	868	415
部分品	1,393	1,641
仕掛品	3,563	3,866
その他	6,269	5,936
貸倒引当金	△18	△21
流動資産合計	45,740	45,169
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	13,655	17,921
その他（純額）	16,512	18,280
有形固定資産合計	30,167	36,202
無形固定資産	453	581
投資その他の資産	7,489	7,557
固定資産合計	38,109	44,340
資産合計	83,850	89,509
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,952	13,919
1年内返済予定の長期借入金	1,027	1,642
未払法人税等	1,979	895
賞与引当金	862	777
役員賞与引当金	64	55
災害損失引当金	59	44
その他	5,039	6,868
流動負債合計	24,984	24,201
固定負債		
長期借入金	3,939	8,356
退職給付引当金	1,086	1,041
その他	2,604	1,649
固定負債合計	7,630	11,047
負債合計	32,614	35,249

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,472	3,472
資本剰余金	6,997	7,000
利益剰余金	47,248	49,887
自己株式	△1,158	△1,150
株主資本合計	56,559	59,209
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,351	1,341
為替換算調整勘定	△14,685	△14,733
在外子会社の年金債務調整額	△330	△301
その他の包括利益累計額合計	△13,664	△13,693
新株予約権	119	169
少数株主持分	8,220	8,575
純資産合計	51,235	54,260
負債純資産合計	83,850	89,509



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	75,631	83,732
売上原価	63,021	72,111
売上総利益	12,610	11,621
販売費及び一般管理費	6,047	6,734
営業利益	6,562	4,886
営業外収益		
受取利息	115	88
受取配当金	74	91
為替差益	—	82
その他	127	130
営業外収益合計	317	392
営業外費用		
支払利息	109	118
為替差損	113	—
その他	59	21
営業外費用合計	281	139
経常利益	6,598	5,138
特別利益		
固定資産売却益	8	1
投資有価証券売却益	29	—
保険転換差益	16	—
保険解約返戻金	—	5
その他	5	—
特別利益合計	59	7
特別損失		
固定資産廃棄損	45	8
減損損失	7	7
投資有価証券評価損	235	—
その他	2	2
特別損失合計	290	17
税金等調整前四半期純利益	6,367	5,128
法人税等	1,770	1,487
少数株主損益調整前四半期純利益	4,596	3,641
少数株主利益	811	599
四半期純利益	3,785	3,041

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,596	3,641
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△347	△9
為替換算調整勘定	△2,638	△1
在外子会社の年金債務調整額	△45	34
その他の包括利益合計	△3,031	23
四半期包括利益	1,565	3,664
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,129	3,011
少数株主に係る四半期包括利益	435	652

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

## I. 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	米州	アジア	
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	29,552	23,298	22,780	75,631
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	7,491	230	42	7,765
計	37,044	23,529	22,823	83,397
セグメント利益	3,724	702	2,568	6,994

## 2. 報告セグメントの利益金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,994
セグメント間取引調整額	△431
四半期連結損益計算書の営業利益	6,562

## II. 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	米州	アジア	
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	29,384	27,427	26,920	83,732
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	8,536	314	48	8,900
計	37,921	27,742	26,969	92,633
セグメント利益	2,752	879	1,914	5,545

## 2. 報告セグメントの利益金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,545
セグメント間取引調整額	△659
四半期連結損益計算書の営業利益	4,886

(注) 平成24年10月にブラジルに子会社を新規設立し、その数値を従来の区分である「北米」に含めることとしたため、当第3四半期連結累計期間よりセグメント区分の表示を「北米」から「米州」に変更しております。

これに伴い、前第3四半期連結累計期間についても、変更後の名称で表示しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当社は、平成25年1月15日開催の取締役会において資金調達することを決議し、平成25年1月31日で調達を完了しました。

(1) 資金調達の目的

今後成長が期待される地域への新生産拠点設立並びに既存拠点能力増強のため投融資資金

(2) 調達金額

140億円

(3) 資金調達先

株式会社みずほ銀行、株式会社横浜銀行、株式会社三菱東京UFJ銀行、  
株式会社三井住友銀行、三菱UFJ信託銀行株式会社、株式会社神奈川銀行

(4) 資金調達方法

長期借入金

(5) 借入期間

5年間

(6) 担保提供

なし

(7) 借入実施時期

平成25年1月